

「あおもり産学官金連携イノベーションアワード 2025」の受賞者

1 趣旨

青森県内における先導的で優良な産学官金連携による事例について表彰し、情報発信することにより、その仕組みや実施のノウハウの共有と取組意欲の醸成を図り、県内の産学官金連携活動の更なる進展と裾野拡大を目指す。 ※平成28年度創設

2 主催

イノベーション・ネットワークあおもり（代表 青森県知事）

3 表彰

（1）イノベーション優秀賞（1点）

産学官金連携による取組の成果としての優れた技術・製品・サービスが、本県の新産業・新事業創出や地域活性化に貢献している実績があると認められるもの。

（2）イノベーションチャレンジ賞（1点）

産学官金連携による取組の成果としての優れた技術・製品・サービスが、本県の新産業・新事業創出や地域活性化に今後、期待がされるもの。

4 審査基準

①新規性・独自性、②社会貢献・地域貢献、③成果、④将来性、⑤その他(特許等知的財産の取得・活用、DX・GX・SDGs の推進等、特筆すべき取組)の5つの基準を踏まえて、外部の有識者が産学官金連携の視点から総合的に判断。

5 受賞者

別紙のとおり

6 授賞式

令和7年12月10日（水）に開催する「あおもり産学官金共創フォーラム」において、授賞式を執り行う。

「あおもり産学官金連携イノベーションアワード 2025」受賞者

イノベーション 優秀賞※1	有限会社まごころ農場(弘前市) (独自の乾燥技術による青森県産りんごを使用した「あおもり林檎セミドライ」の事業化)
<p>※1 産学官金連携による取組の成果としての優れた技術・製品・サービスが、本県の新産業・新事業創出や地域活性化に貢献している実績があると認められるもの。</p>	
<p>多くのドライフルーツが海外製造・輸入品である中、独自の乾燥技術により、青森県産りんご本来の色調や風味を保持したまま、理想的な食感を実現したセミドライ商品を開発し、加工事業部門の売上が全体の9割程度を占めるまでに成長した。</p> <p>セミドライ商品から得られた付加価値は、原料供給を担うりんご農家への還元や新たな雇用の創出につながっているほか、技術開発による製造ノウハウを地域食品事業者向けOEM機能として提供しており、地域活性化に広く貢献している。</p>	
<p>【連携機関等】 (公財) 21あおもり産業総合支援センター、 (地独) 青森県産業技術センター農産物加工研究所、 碇ヶ関開発(株)</p>	
イノベーション チャレンジ賞※2	株式会社弘前子ども発達支援センター(弘前市) (早期発達評価(アセスメント)支援 Webスクリーニングの開発と地域への普及)
<p>※2 産学官金連携による取組の成果としての優れた技術・製品・サービスが、本県の新産業・新事業創出や地域活性化に今後、期待がされるもの。</p>	
<p>発達早期である3歳児と5歳児を対象とした発達評価(アセスメント)を行うことができるWebスクリーニングシステムを実用化し、発達障がいリスク児の抽出精度を従来よりも大幅に向上させた。</p> <p>弘前市における2023年度のWebスクリーニングの参加者は、3歳児で100%（法定健診）、5歳児で91%（任意健診）に及び、小児科をはじめとする専門職のリソースが少ない本県において、乳幼児健診での発達障がいの早期発見と早期支援の普及に貢献した。</p>	